

日本ユニシス株式会社

2011年6月期決算説明会(2011年7月29日開催)

## 主な質疑応答

(ご理解いただきやすいよう表現を変更している箇所があります。)

**Q：環境をかなり厳しくみているとのことだったが、1Qのシステムサービスや製造向けの受注は伸びているようだ。この傾向を今後どのようにみているのか教えてほしい。**

A：金融および流通向けの大型案件が寄与し、ようやくシステムサービスの受注が前年同期比で31億円増と回復してきたほか、製造向けも回復傾向が継続している。今後は、製造に加え、金融、流通が牽引していくものとみている。

**Q：今期は、地銀で新規2行の獲得を計画していたと思うが、状況を教えてほしい。**

A：地銀の国内勘定系Bank Visionは、当四半期で7行目が稼働し、1行が開発中と既に8行の採用が決まっている。新規行へのセールスは計画通り進行しており、うち1行の受注確度はかなり高まっている。

**Q：1Qで発生した不採算案件の内容を教えてほしい。**

A：今期本稼働予定の長期開発案件に対して追加対応が必要となったことから、コスト増が見込まれる部分について1Qで引当てた。また、さらに今後、追加引当てが必要となるリスクを2Q見通しに見込んでいます。

**Q：6月からメインフレーム賃貸の大型契約が終了したと認識しているが、その売上高への影響について教えてほしい。**

A：メインフレーム賃貸の終了による売上高への影響は、1Qでは13億円だった。すでに前年下期から一部終了していたため、今後、2Qでの影響額がピークになり、それ以降は1Q並みになる。なお、当期は他に子会社の売却に伴う売上高への影響があるが、1Qでの影響額は14億円。2Q以降も同程度の影響となる。

(注)本資料で記述しております業績見通し等の予測数値は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づき算定しており、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、実際の業績は、本資料における見通しと大きく異なる可能性があることをご承知おきください。また、本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。